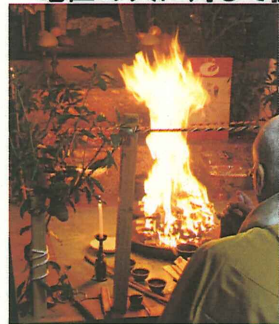




▲ 剣山を指す岩。剣山へ参拝できない者は岩の指し示す剣山に向かって拝む



▲ バラ寿司・ソバ米雑炊・白和え。地区の人に対して振る舞われる



住職が細長く切った薪木を火に入れる。煙がたちこめ、幻想的な雰囲気。

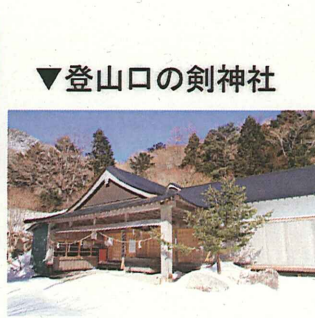


# 御護摩 供養

438号線は、チェーンかスタッドレス。四駆は必須である ▼



▲ 春が来れば登山客でにぎわう民宿



▼ 登山口の剣神社



▲ 見ノ越はすっかり雪の中

## 水色の空、白色の山

雪に覆われた剣山周辺。438号線は冬期、第一ヘアピンから奥は凍りっぱなしである。スタッドレス又はチェーンが必要だ。しかも四駆でなければ、たちまち立ち往生してしまう。運転は熟練者に任せて、窓外の雪景色を眺めることにした。

▼ 朝日に照らされて木々が影を落とす



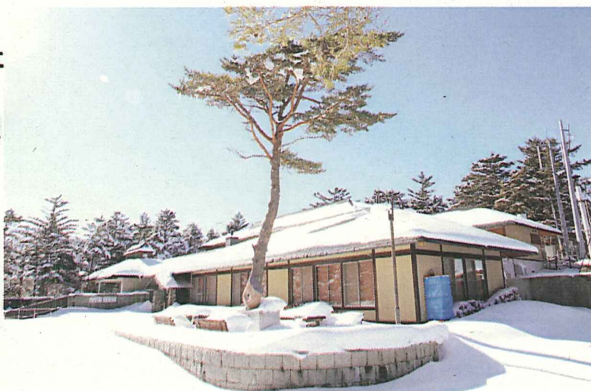
宿泊施設の「ラ・フォーレ剣山」も雪をかぶっている。近くにある夫婦池も、雪に隠れてしまっていた。  
※雪景色は1~2月の撮影



Akiko Yoshimoto

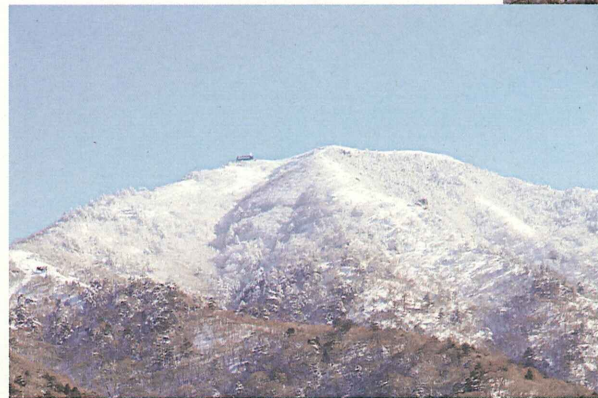
▲ ラ・フォーレ剣山付近

ラ・フォーレ剣山は冬期休業中 ▼



## ホラ貝と太鼓の響き

旧暦1月17日、剣山川又遙拝所で御護摩供養が行われる。地域住民が一堂に集った遙拝所。ホラ貝と太鼓が鳴り響く。



▲ 山開きの暁には、再びあの頂へ(剣山)

## ヘタッピ ドライバー 紀行

住職が護摩の炉に薪を入れると、白い煙が立ちこめた。護摩は、先祖供養、無病息災、家内安全を願って焚かれる。